

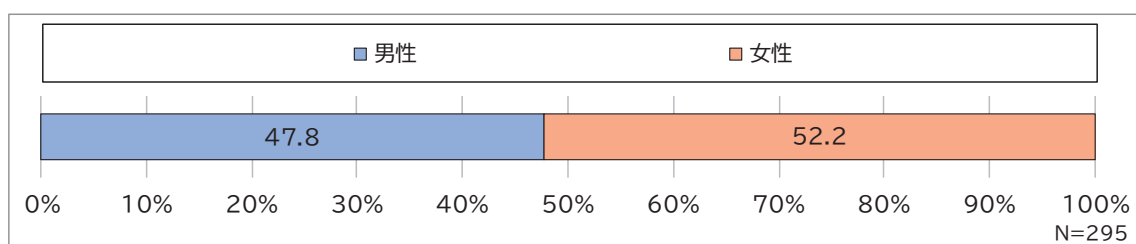
参考資料

1 若年層の定住に関するアンケート調査結果

(1) 回答者属性

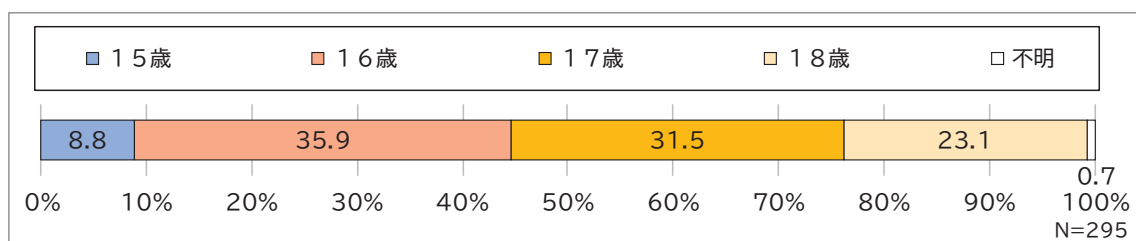
問1-1 性別

「女性」が52.2%、「男性」が47.8%であった。



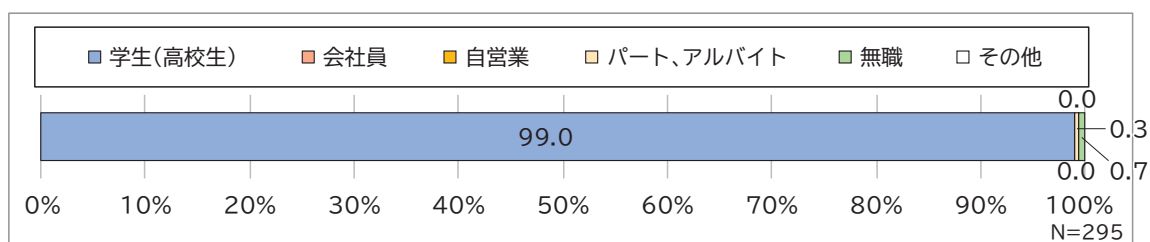
問1-2 年齢

「16歳」(35.9%)が最も多く、以下、「17歳」(31.5%)、「18歳」(23.1%)、「15歳」(8.8%)の順であった。



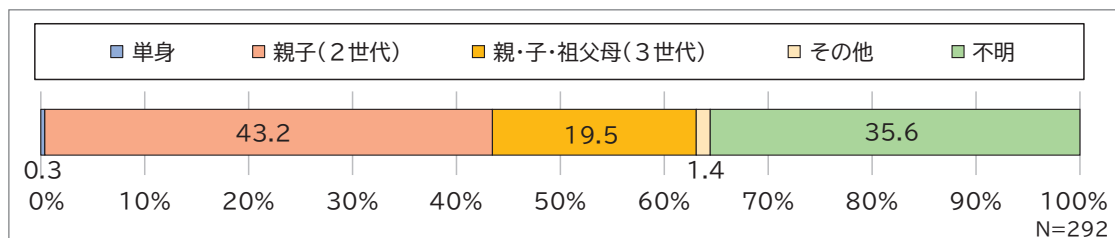
問1-3 職業

「学生(高校生)」(99.0%)が殆どを占め、以下、「無職」(0.7%)、「パート・アルバイト」(0.3%)であった。



問1-4 家族構成

「親子(2世代)」(43.2%)が最も多く、以下、「不明」(35.6%)、「親・子・祖父母(3世代)」(19.5%)の順であった。



問1-5 居住地域

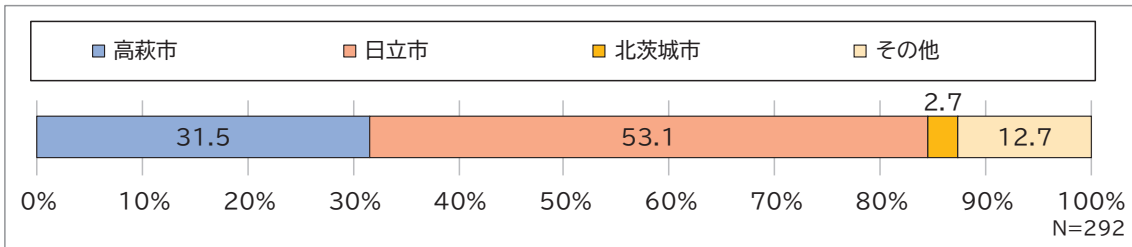
「不明」(34.2%)を除くと、「島名」(11.3%)が最も多く、以下、「高萩」(9.2%)、「上手網(望海含む)」(8.6%)、「安良川」(7.5%)の順であった。

地域名	割合
本町	2.7%
大和町	1.0%
春日町	0.3%
東本町	1.0%
肥前町	1.4%
有明町	2.1%
高浜町	3.8%
高萩	9.2%
安良川	7.5%
石滝	0.3%
島名	11.3%
秋山	6.2%

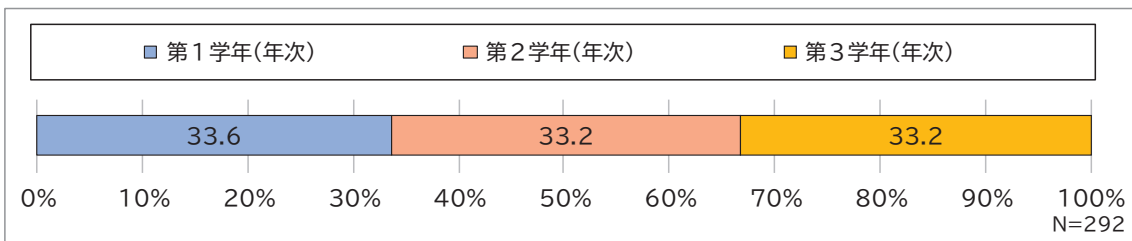
地域名	割合
上手網(望海含む)	8.6%
下手網	6.2%
高戸	3.1%
赤浜	0.7%
若栗	0.0%
上君田	0.0%
下君田	0.0%
中戸川・福平	0.3%
大能	0.0%
横川	0.0%
不明	34.2%

問2 〔問1(3)で「1. 学生(高校生)」とお答えの方〕あなたが通学している学校の所在地と学年をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

通学している学校の所在地をみると、「日立市」(53.1%)が最も多く、以下、「高萩市」(31.5%)、「その他」(12.7%)の順であった。

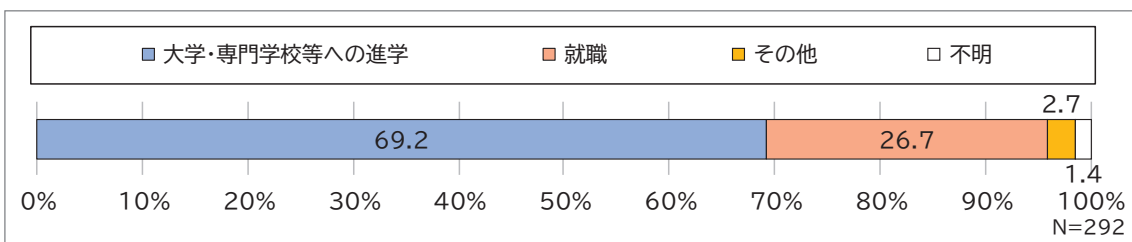


学年をみると、「第1学年(年次)」が33.6%、「第2学年(年次)」が33.2%、「第3学年(年次)」が33.2%であった。



問3 〔問1(3)で「1. 学生(高校生)」とお答えの方〕現在通学している学校を卒業後、どのような進路を希望していますか。(あてはまるもの1つに○)

「大学・専門学校等への進学」(69.2%)が最も多く、以下、「就職」(26.7%)、「その他」(2.7%)の順であった。



問4 〔問1(3)で「1. 学生(高校生)」とお答えの方〕問3で回答した進路先はどの地域を希望していますか。(あてはまるもの1つに○)

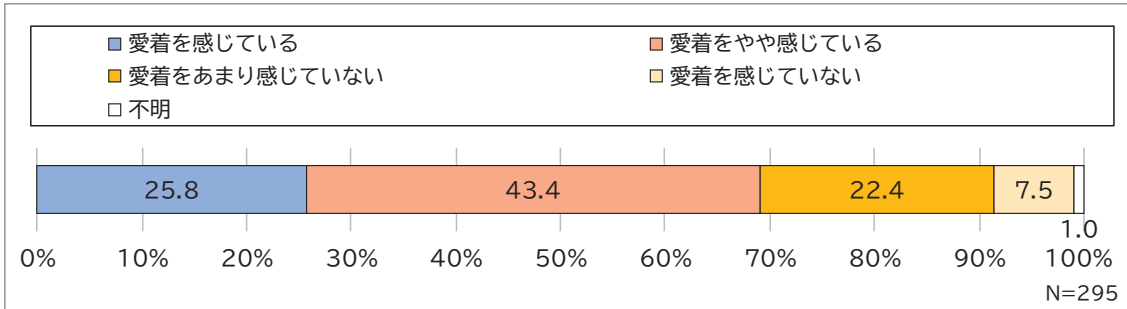
「東京都」(22.3%)が最も多く、以下、「水戸市」(20.5%)、「日立市」(15.4%)の順であった。

地域名	割合
高萩市	9.2%
北茨城市	2.1%
日立市	15.4%
水戸市	20.5%
その他の茨城県内の市町村	7.2%
いわき市	1.4%
福島県(いわき市以外)	0.7%
栃木県	1.4%
東京都	22.3%
千葉県	5.8%
その他の道府県	9.9%
海外	0.3%
不明	3.8%

(2)高萩市のことについて

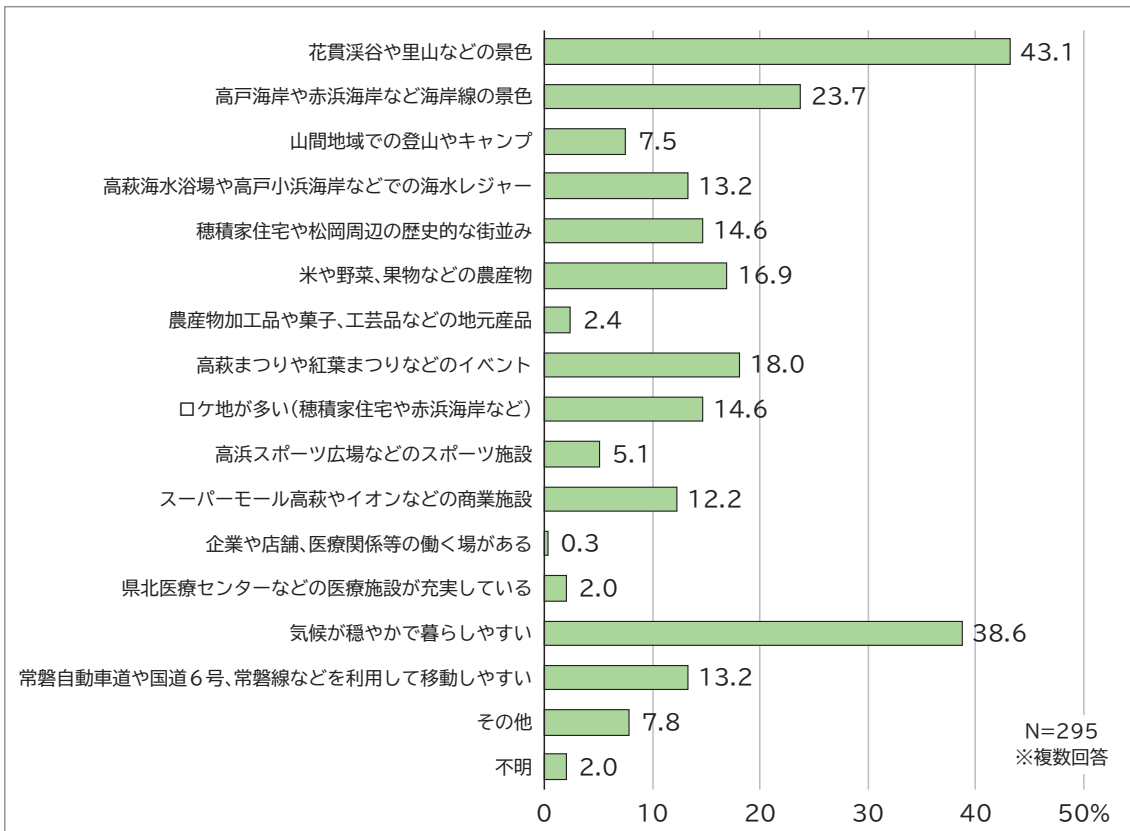
問5 あなたは、高萩市に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。（あてはまるもの1つに○）

「愛着をやや感じている」(43.4%)が最も多く、以下、「愛着を感じている」(25.8%)、「愛着をあまり感じていない」(22.4%)の順であった。



問6 あなたは、高萩市の良いところは何だと思えますか。（あてはまるもの3つまで○）

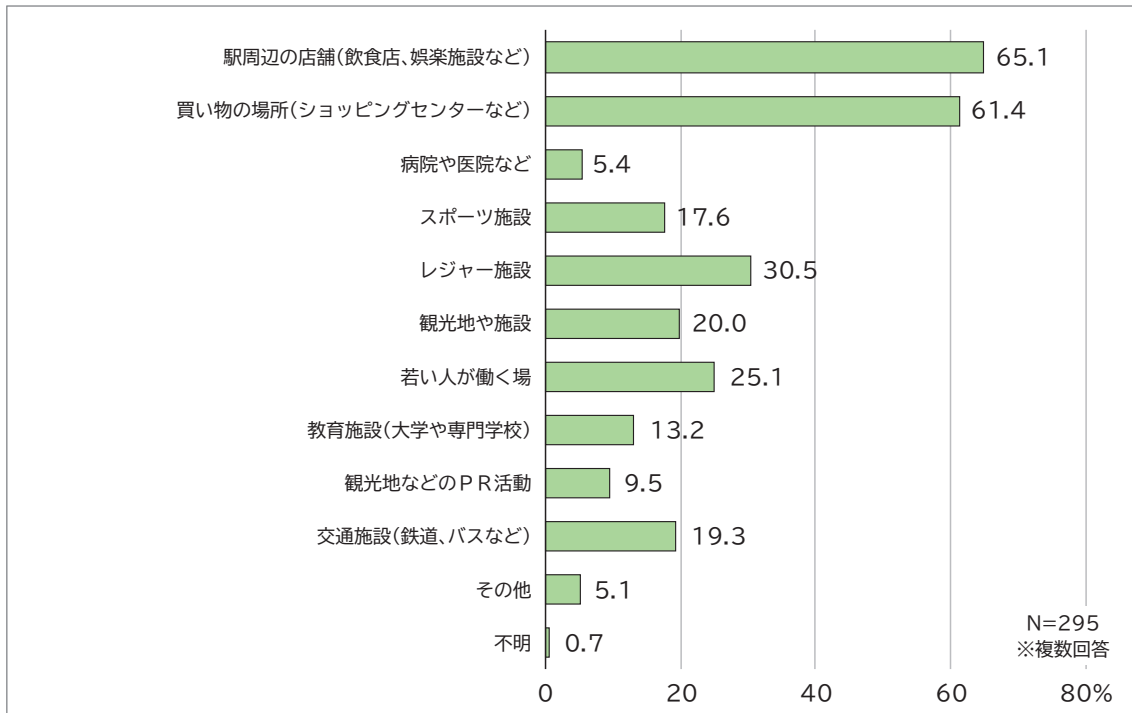
「花貫渓谷や里山などの景色」(43.1%)が最も多く、以下、「気候が穏やかで暮らしやすい」(38.6%)、「高戸海岸や赤浜海岸など海岸線の景色」(23.7%)、「高萩まつりや紅葉まつりなどのイベント」(18.0%)、「米や野菜、果物などの農産物」(16.9%)の順であった。



問7 あなたは、高萩市に足りないものは何だと思いますか。

(あてはまるもの3つまで○)

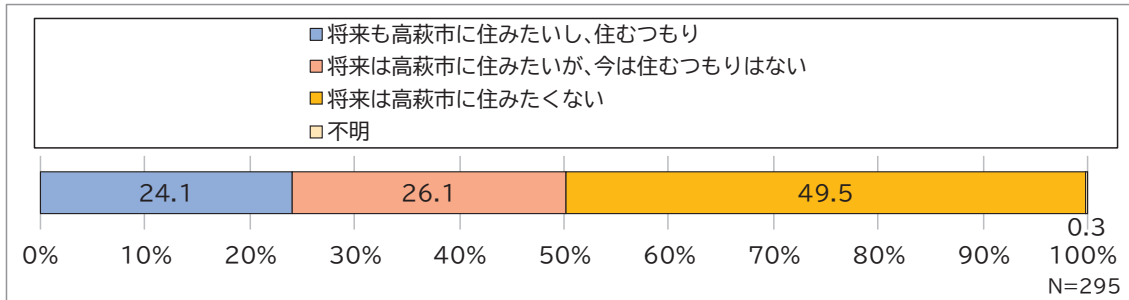
「駅周辺の店舗(飲食店、娯楽施設など)」(65.1%)が最も多く、以下、「買い物の場所(ショッピングセンターなど)」(61.4%)、「レジャー施設」(30.5%)、「若い人が働く場」(25.1%)、「観光地や施設」(20.0%)の順であった。



(3) 将来住みたいところについて

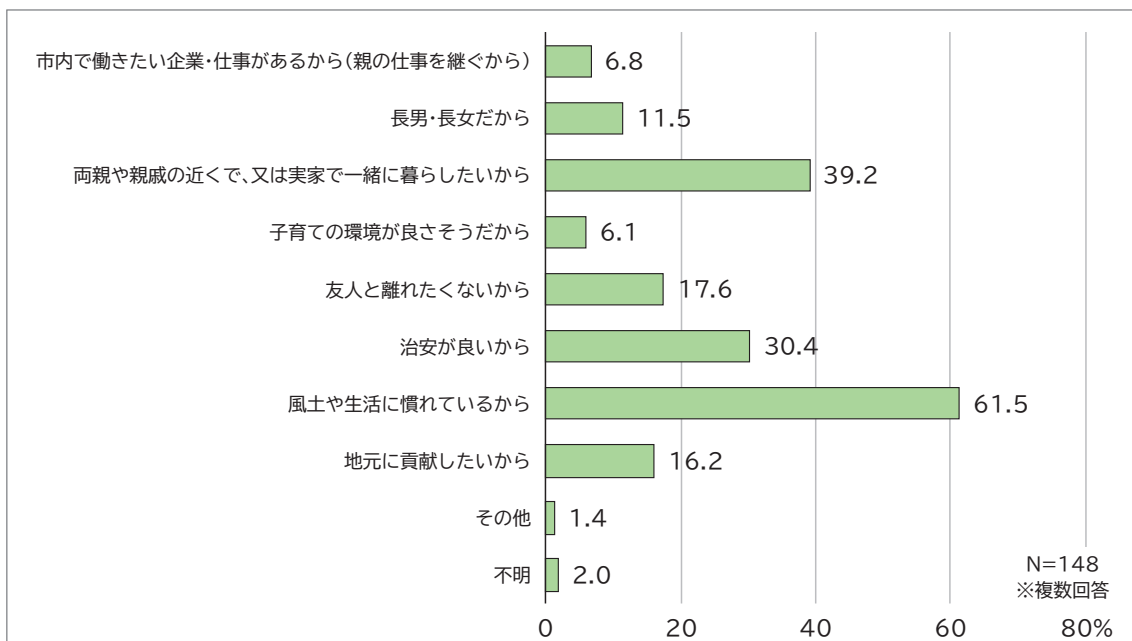
問8 あなたは将来、高萩市に住みたい(定住したい)と考えていますか。
(あてはまるもの1つに○)

「将来は高萩市に住みたくない」(49.5%)が最も多く、以下、「将来は高萩市に住みたいが、今は住むつもりはない」(26.1%)、「将来も高萩市に住みたいし、住むつもり」(24.1%)の順であった。



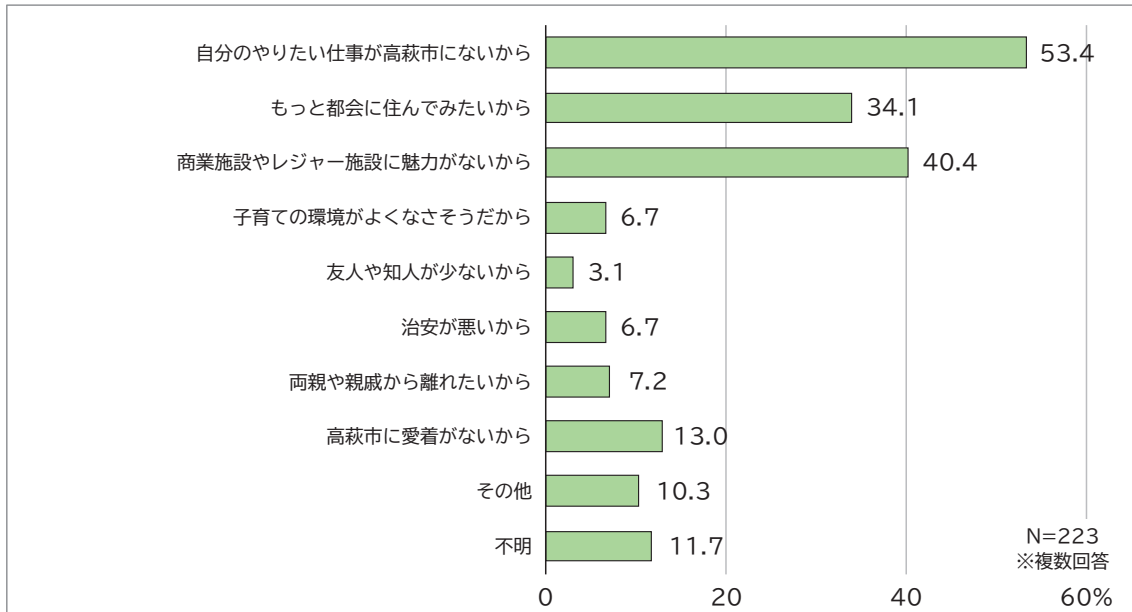
問9 [問8で「1」又は「2」とお答えの方]あなたが「高萩市に住みたい」と回答した理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

問8で「将来も高萩市に住みたいし、住むつもり」か「将来は高萩市に住みたいが、今は住むつもりはない」とした回答者の理由をみると、「風土や生活に慣れているから」(61.5%)が最も多く、以下、「両親や親戚の近くで、又は実家で一緒に暮らしたいから」(39.2%)、「治安が良いから」(30.4%)の順であった。



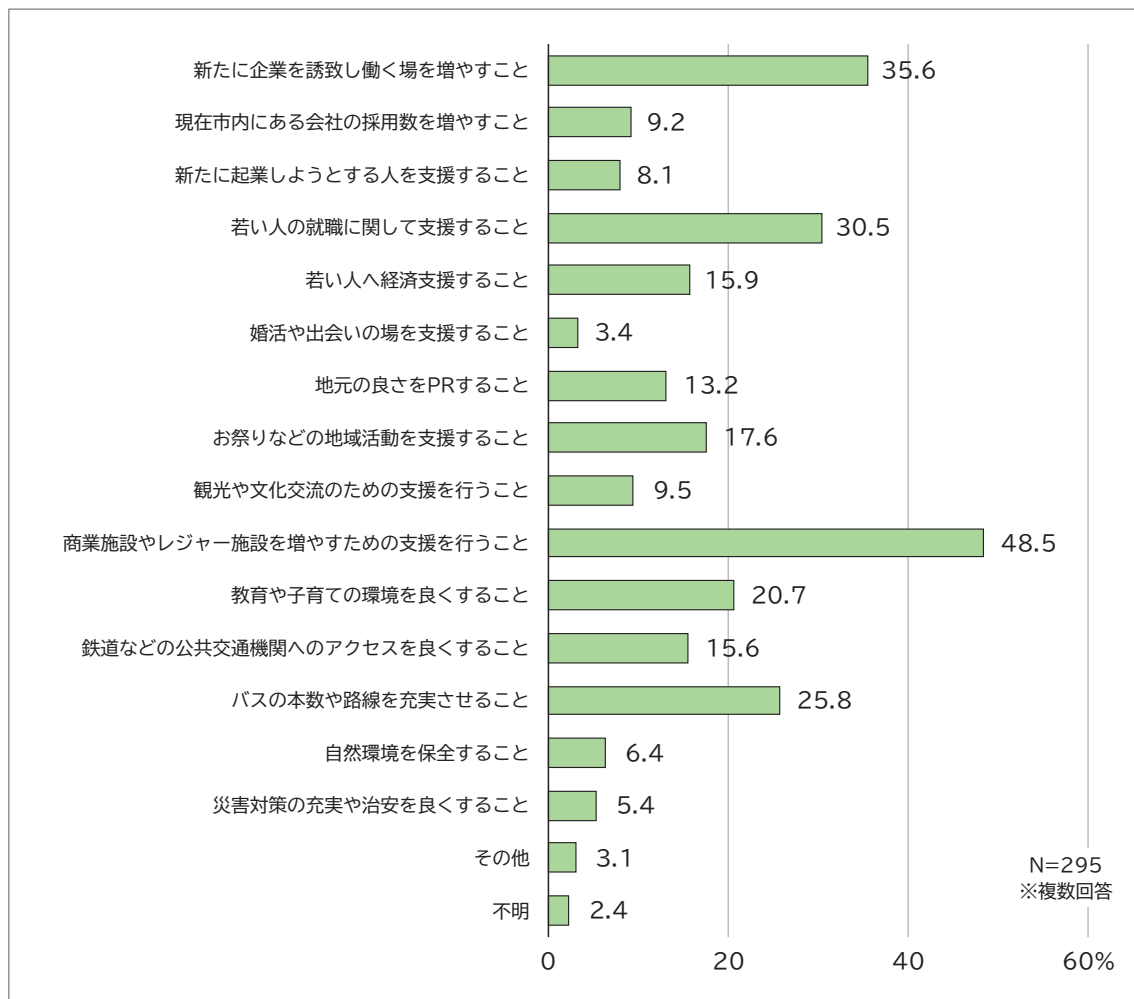
問10 [問8で「2」又は「3」とお答えの方]あなたが高萩市に「今は住むつもりはない」又は「住みたくない」と回答した理由は何ですか。
(あてはまるもの3つまで○)

問8で「将来は高萩市に住みたいが、今は住むつもりはない」か「将来は高萩市に住みたくない」とした回答者の理由をみると、「自分のやりたい仕事が高萩市にないから」(53.4%)が最も多く、以下、「商業施設やレジャー施設に魅力がないから」(40.4%)、「もっと都会に住んでみたいから」(34.1%)の順であった。



問11 あなたは、高萩市に住む人を増やすために必要な支援策は何だと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)

「商業施設やレジャー施設を増やすための支援を行うこと」(48.5%)が最も多く、以下、「新たに企業を誘致し働く場を増やすこと」(35.6%)、「若い人の就職に関して支援すること」(30.5%)、「バスの本数や路線を充実させること」(25.8%)、「教育や子育ての環境を良くすること」(20.7%)の順であった。



2 「みんなで語ろう！高萩の未来」ワークショップ報告書

(1)目的

第2期高萩市創生総合戦略を策定するに当たり、将来の地域づくりの担い手である若い世代の声を把握し、施策検討の参考とするとともに、参加者が本市の将来について自分事として考える機会を設けることで、まちづくりの関心や郷土の愛着を高め、市外転出の抑制に繋げることを目的に、ワークショップを開催した。

(2)日時

令和2年8月12日(水) 午前9時～正午

(3)場所

高萩市役所4F 大会議室

(4)対象

市内中学校(高萩中学校・秋山中学校・松岡中学校)及び高校・大学
【内訳】中学生8名、高校生4名、大学生2名 合計14名

(5)内容・経過

■課題提起

本市の人口の推移や転出入の状況などについて職員から説明し、人口減少・少子高齢化の進行や、市外への進学・就職に伴う20歳代の転出増加という本市の課題について共有した。

■本市における特徴的な取り組みについて

課題提起を踏まえ、推進している特徴的な取組などについて、職員から説明した。

■ワークショップ

学校・学年混成で3グループに分かれ、参加者それぞれの本市の「好きなところ」「残念なところ」を起点に、本市の未来について語り合うワークショップを行った。ワークショップの経過は、P.43のとおり。



【ワークショップの経過】

■話し合い その①

- (1) 高萩市の「好きなコト・好きなモノ・好きなトコロ」をたくさん出しましょう。
- (2) その中で、これからも残していきたい、無くしたくない大切だと思うコトなどを話し合しましょう。
- (3) 高萩市の“ちょっと残念…”なコトとその理由を考えましょう。

【意見一覧】

好 き	残 念
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の中でたくさん遊ぶこと ・ 自然がとっても豊か、多い（山・川・海） ・ ダム ・ 桜がきれい ・ 海がきれい ・ 蛍 ・ 森林公園 ・ さくら宇宙公園 ・ 運動できる場所が多い ・ 松岡お屋敷通り ・ 八幡宮 ・ 君田 ・ お祭り（高萩まつり） ・ 桜まつり ・ 行事がいろいろある ・ はぎまるワッフル ・ 永寿堂 ・ つるつき苺 ・ たかはぎブランド品 ・ はちのラーメン ・ 五浦ハムのハム焼き ・ 納豆 ・ おいしい野菜 ・ 電車が多く通っている（高萩止まり） ・ 友達がいる！ ・ 秋山小の安全活動 ・ 頑張っている団体がたくさんある ・ 近所の人たちとのつながり ・ お年寄りの方々がみんな優しい ・ 小学生たちの安全を守ってくれる人たち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然をもっと活用してほしい ・ 海の砂浜にゴミがたくさんある ・ 虫が多い ・ 歩道や道路に段差が多い ・ せまい道路が多い ・ バスが少ない（本数が少ない） ・ 車がないと不便 ・ デパートなどが少ない ・ 商業施設（ショッピングモール）が少ない ・ 服屋さんが少ない ・ コンビニがあまり多くない ・ 娯楽施設が少ない ・ 映画館がほしい ・ 遊ぶ場所が少ない ・ 知られていない行事も多くある ・ 良いところを伝えられていない ・ SNS を活用できていない ・ PR が下手 ・ 住んでいても知らないことがある ・ 若い人を見掛けない気がする… ・ 空き地、空き家がたくさんある ・ 駅前が活用されていない ・ 商店街のシャッターの多さ ・ 灯りが少ない ・ お祭りの盛り上がりが段々無くなってきている ・ 子育て支援が弱い ・ 「おうちごはん」（日立）みたいな取組みがあったらいいのに… ・ 対策が遅い ・ バラバラ ・ たかはぎ FM が市民に普及していない

[その他の意見]

- ・他の市へは情報発信をしているが、市内にいと分からないことがある。
- ・子供会などの行事参加者は、大体いつも同じ顔触れ。
- ・高萩まつりは、部活や友達の都合もあるので2日間の方が良かった。

[まとめ]

山・川・海など本市を代表する自然環境の評価が高くなっていることに加え、「ダム」や「君田」、「桜」など地域資源や祭りイベントに対する評価も高くなっている。また、「人」に対する評価も高く、人とのつながりや電車を利用する学生ならではの高萩が終着駅であることによる電車本数についての意見も出された。

一方、バス利便性の評価が低く、自動車を運転できない若い世代の悩みの実態が明らかになった。また、空き家や空き地、商店街のシャッターの多さなど、活気のなさを感じていることが推察される。整備の整っていない歩道や道路、街灯などの場所を特定した対策に加え、若い世代にも届く情報発信の手段や方法等の対策が必要である。

■話し合い その②

- (1) あなたが、住み続けたい・帰りたい・誇りに思えるまちにするために、改善すべきことなどを考えましょう。
- (2) その中で、自分たちにできることはどのようなことか考えましょう。

[A班]

- ・駅前などを活用する
カラオケ、ボウリング、飲食店、デリバリー、入りやすいカフェなど(電車の待ち時間に…)
- ・行事の情報発信の強化
ポスターをはる(まちなか、駅など) インスタ←高萩の名所など高校生による発信
- ・高萩市にある中学校全体の行事
高萩の施設を使用、生徒会との連携
- ・給食のおいしさを伝える!
- ・山に直通のバスがほしい←割引券がもらえる(まちなかのお店に寄ってもらえる)

〈メモ〉

◎高萩と日立の給食を食べたが、高萩の方がおいしかった。スタミナ焼きなど人気メニューもある

◎中学校を卒業すると、仲の良い友達とは連絡をとりあうが、そうでない人とは連絡をしなくなるので、行事があればみんなが集まれる

[B班]

- ・服屋を増やす→若い人の、試着ができる店
- ・遊ぶ所をつくる→カフェ（水戸みたいに学生が運営して集まり、勉強できる）、ゲーセン、ボウリング、カラオケ、ゼビオ、映画館、ダイソー
- ・イベントをもっと盛り上げる
市と学生たちが一緒に計画、実行する
お祭りを2日間に、花火をもっと盛大に（SNSでみんなに発信、特にインスタ）
成人式
- ・住み続けると何かがもらえる→お金
- ・空き地の利用→広い公園で中が遊具、周りが散歩コース
- ・大きい商業施設をつくる
- ・ボランティア活動を若い世代で増やす
- ・子育て支援→市の託児所を作る、今ある幼保、学童へ学生がボランティアに行く
寺子屋みたいな場所または回数を増やす。絵本などの回収、配布
- ・いろいろなスポーツができる所（無料の施設）

[C班]

- ・駅の近くでアクセスの良い商業施設を建てる（カラオケ・映画館）
- ・バスの本数を増やして料金も下げ、利用しやすくする
- ・市内や市外の目につく所（駅・学校配布・SNS）にPRポスターを貼る
- ・空き地（空き家）を利用する カフェ、借りられる場所→バイト、商品開発
写真スポットを作る（花畑など） 花を植える
- ・子育て支援を充実させる 託児所・祝い金（高萩は低い？）など

[まとめ]

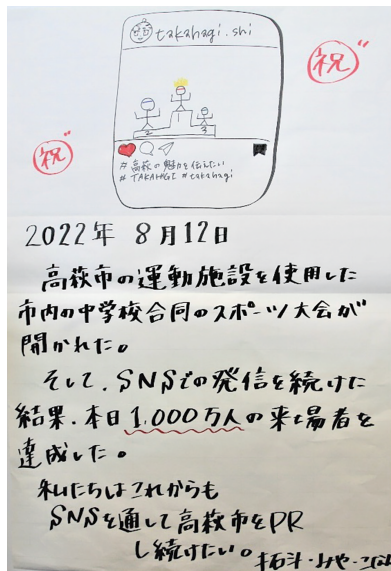
3グループに分かれて話し合った結果、駅近くに遊ぶ所（カフェ、カラオケ、映画館など）のニーズの高さや空き地や空き家の利用方法についての意見が挙げられた。また、イベントを盛り上げるために自分たちにできることや効果的な情報発信は、若者との協働により現代社会に対応できる可能性がある。学生として協力できる子育て支援や、移動手段としてのバスの充実など、高萩に住み続けたい・帰りたい・誇りに思えるまちにするために改善すべきことが数多く挙げられた。これらから、実現させたいことを5つ選び、未来絵日記としてまとめた。

■話し合い その③

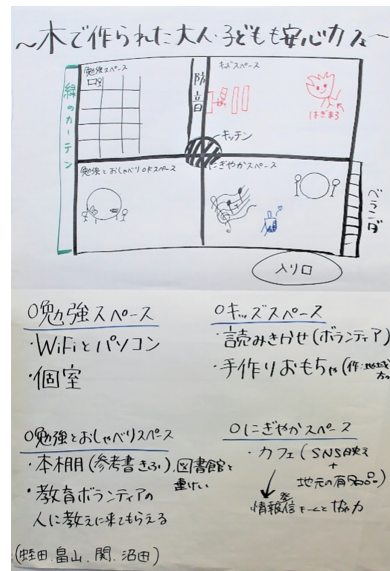
高萩市が、“住みたいまち”になるためにはこれを実現させるべき！と思うことを選び、想像を膨らませながら「未来絵日記」としてまとめましょう。

[私たちが描く5つの未来絵日記]

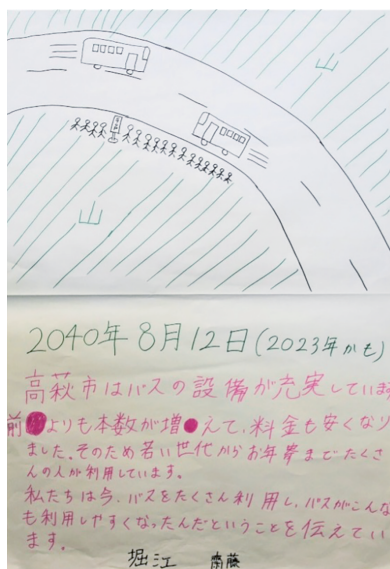
1 情報発信



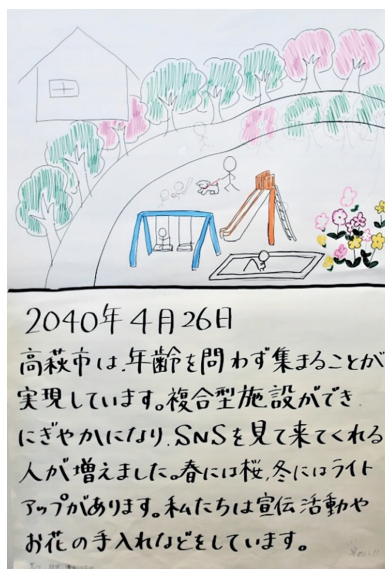
2 駅前カフェ



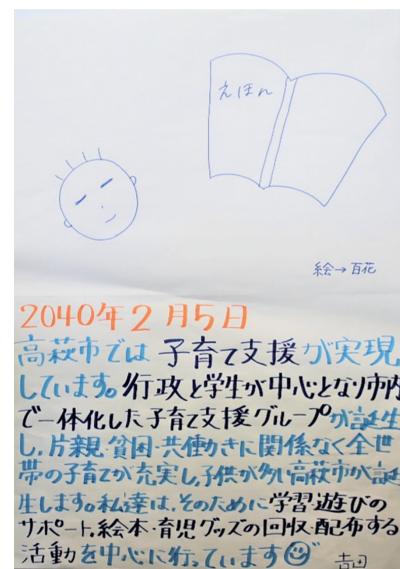
3 バス利用



4 空き地・空き家



5 子育て支援





第2期高萩市創生総合戦略

編集・発行：高萩市 企画部地方創生課
住 所：〒318-8511 茨城県高萩市本町1-100-1
電 話：0293-23-2127
F A X：0293-23-3451
U R L：<https://www.city.takahagi.ibaraki.jp/>
発行年月：令和3年3月



見やすいユニバーサルデザインフォントを
採用しています。